

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
神代植物公園	(指定管理者名) 公益財団法人 東京都公園協会 (団体の概要) 都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。
指定期間	
H28.4.1 ~ R8.3.31 (10年間)	

2 施設名	3 収支(単位:千円)			
神代植物公園		令和3年度	令和2年度	公園別支出額 神代植物公園：593,991
	項目	金額	金額	
	収入計	602,436	576,131	
	内 指定管理料	602,436	576,131	
	内 利用料金	0	0	
	支出計	593,991	571,581	
	収支差	8,445	4,550	

4 管理運営の概要

【開園60周年記念事業】
調布市長はじめ地域の関係者を招待し開園記念式典を開催し、10年前に埋設したタイムカプセルの開封や医療従事者へ敬意を表しメディアカルティーツリーの植樹を行い、無観客でしたが実施状況をWebでも配信しました。また、特別企画展「神代植物公園～過去から現在、そして未来」のWebとの同時開催や記念動画のJR新宿駅等での放映など多媒体で発信を行い、60年の感謝の気持ちを広く共有することができました。

【江戸園芸文化の保存・継承】
臨時休園やイベントができない時期がありましたが、伝統の菊花大会を新たに近隣中学生の参加を得て開催しました。また、江戸園芸に関する特別企画展やハナショウブ、カエデ等の展示会、全国規模の江戸園芸シンポジウムをリモート開催するなど、広く江戸園芸の普及を図りました。

【植物多様性の保全】
絶滅危惧植物の生育状況調査や全国の植物園、保護団体との情報交換をコロナ禍に対応して進めるとともに、無菌培養技術を活用した域外保全や学習園の整備、エントランス展示の充実により、東京の植物多様性保全と教育普及を進めました。

【魅力向上と情報発信】
見本園再生プロジェクトを継続するとともに、新たに夏の水草花壇の設置や食虫植物展の開催により植物展示の魅力を向上しました。また、休園時も含め、即時・詳細・頻繁な植物情報の発信や初のドローン撮影による魅力発信等により、Twitterのフォロワー3万人を達成しました。

5 管理状況（維持管理）

- 昨年「神代都鳥」に続き、当園で見出したツバキ「神代桃錦」を日本ツバキ協会に新品種として申請し認定を受けました。
- 宿根草園5区画で、花色を統一した配植で植物を植え替え、ベンチやオブジェを配しフォトスポットとして再整備しました。
- おもてなし花壇として入口に花壇等による水草花壇を新たに設置したほか、うりうり畑（ヒョウタン棚）を間近で鑑賞できるように新たに製作し、花の少なくなる夏の新たなビューポイントを創出しました。
- 栽培方法の工夫により、世界でも稀なショクダイオオコンニャク4回目の開花に成功し、栽培や生育記録を公開しました。
- 恒例の深大寺小学校や深大寺そば組合と合同のソバづくり、お米づくりに加え、新たに深大寺一味会と連携し「江戸東京野菜・深大寺在来ソバづくり」を実施し、地域の伝統野菜の保存・継承と認知度の向上に貢献することができました。
- 絶滅危惧植物ツレサギソウについて、類似種の形態を参考に無菌培養の操作方法や培地に工夫を凝らすことで、前例がない播種・育成から株分け増殖に成功しました。
- 港区高輪の環状四号線予定地に生育していたキンランを植え戻しのため保護育成し、東京都事業に貢献しました。
- 新中川暫定係留施設と連携し、これまで有償処分していた流木を有効活用し学習園海岸砂地エリアの観察路柵を景観に合わせ整備しました。流木は大温室の展示等にも活用しました。
- 利用者のニーズに応え駐車場の通用口に簡易舗装等を行い、バリアフリー化を図りました。
- 昨年度のトイレ自動水栓化に加え、主要トイレ等にオートソープディスペンサーを追加設置、新たに、エアーフレッシュナー（消臭・芳香）、エアーサニタイザー（抗菌・脱臭・空気清浄）、抗菌処理を施し、感染症対策と快適性を向上しました。

6 利用者アンケート結果

実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員への対応
神代植物公園	4.6	4.6	4.6	4.8	4.6

7 入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
神代植物公園	284,069	春の繁忙期を含む4か月以上の期間が臨時休園となり、再開後も事前予約制による入園制限やイベント等の制限が続きましたが、休園中を含めドローン撮影やSNS等を活用した魅力発信に努め、年間の来園者数は28.4万人（目標比40.4%）となりました。
合計	284,069	



神代植物公園

所在地：調布市／開園面積：48.97ha

『世界一の都市・東京』に
ふさわしい植物園として



ドローンで撮影したばら園。右は60周年ロゴ

おかげさまで開園60年！これからもずっと皆様とともに

事業計画 No.3-②-4、③-41 No.4-自-1／評価区分 23



神代植物公園開園60周年記念事業

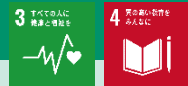
開園から60年の10月20日、調布市長はじめ地域の関係者を招待し開園記念式典を開催しました。10年前に埋設したタイムカプセルの開封や医療従事者へ敬意を表しメディカルティーツリーの植樹を行い、無観客でしたが実施状況をWeb配信しました。また、特別企画展「神代植物公園～過去から現在、そして未来」のWebとの同時開催や記念動画のJR新宿駅等での放映など多媒体で発信し、60年の感謝の気持ちを広く共有できました。



タイムカプセルメッセージの受け渡し
(Webニュースより)

さらなる魅力向上に向けて

事業計画 No.3-②-16・26・49・57、③-23・58・61・67、④-48 No.4-自-13／評価区分 20、21、23



植物展示の魅力向上

見本園再生プロジェクトとして、宿根草園5区画をフォトスポットとして再整備したほか、うりうり畑（ヒョウタン棚）製作や水草花壇の設置により、夏のビューポイントを創出しました。また、新たに「食虫植物展」を開催し夏休みの親子連れに大好評でした。



食虫植物展

公園版ワーケーション始動

新たに、大温室休憩室のベゴニア室を望む窓辺等にWi-Fi環境やイス・テーブル、電源等を整備しワーケーションスポットを開設しました。「SNSで話題に」とWebニュースでも紹介され、利用が拡大し、コロナ禍のニーズに応えた新たな公園活用ができました。



ワーケーション利用状況

新たな魅力を発信

臨時休園中の春のばら園で都立公園で初のドローン撮影を行い、Twitterでの発信に1日1万再生以上の反響がありました。秋には色とりどりの紅葉を紹介しました。休園中も含め、植物情報の即時・詳細・頻繁なTwitter発信でフォロワー3万人を達成しました。



ドローンで撮影したかえで園



日本を代表する植物園として存在をアピール

事業計画 No.3-②-4・5・6・35・71、③-9・44・61 No.4-自-2/評価区分 6、35



コロナ禍も江戸園芸文化を普及

コロナ禍も粘り強く調整を進め、開園時から続く菊花大会を、新たに近隣中学校の参加も得て開催したほか、江戸園芸シンポジウムをWeb開催しました。また、当園で見出した「神代桃錦」がツバキ新品種に認定されました。



ツバキ「神代桃錦」

高い技術力で植物多様性を保全

東京の絶滅危惧種の調査や工事に伴う保護を継続したほか、無菌培養の培地等を工夫して前例のないツレサギソウの増殖に成功しました。また、世界でも稀なショクダイオオコンニャク4回目の開花を達成しました。



ショクダイオオコンニャク

パートナーシップで地域活性化

事業計画 No.3-②-42 No.4-イ-9・13、自-5・9/評価区分 22



園内で「養蜂」スタート

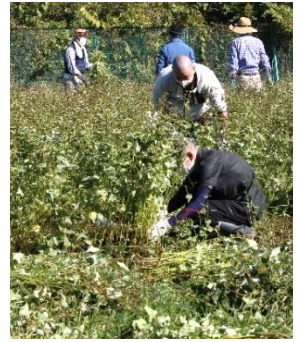
昆虫と植物の共生を伝えるため、地元の深大寺養蜂園と連携し「養蜂」をスタート。夏休みには親子で養蜂家体験「ミツバチともだちになろう！」を開催したほか、当園オリジナルパッケージでの生蜂蜜の販売につなげました。



親子で養蜂家体験イベント

新たに、深大寺在来ソバづくり

深大寺小学校や深大寺そば組合と合同のソバ作り、お米作りに加え、在来のソバ作りに取り組む深大寺一味会と連携し、新たに「江戸東京野菜・深大寺在来ソバづくり」を実施。伝統野菜の継承に貢献しました。



深大寺在来ソバづくり

河川の廃材を有効活用

事業計画 No.3-②-44/評価区分 2



景観に合わせて観察路柵を整備

新中川暫定係留施設と連携し、有償処分していた流木を有効活用して学習園海岸砂地エリアの観察路柵を整備しました。懸案の園地への踏み込みを防止し、園路幅を広くして利便性も高めました。流木は大温室の展示等にも活用しています。



新中川暫定係留施設に集積した流木(左)と整備した観察路柵

蓄積したノウハウで、安全・安心・快適を確保

事業計画 No.3-①-4、③-16・80、④-4/評価区分 2, 32



新型コロナウイルス感染症への万全の対応

6月の再開園に際し、事前予約制の導入やキャッシュレス決済の本格運用、ショクダイオオコンニャクの公開等を万全に行うとともに、滞留人数計測にも迅速に対応。授乳室や主要トイレにエアースタイザー、エアフレッシュナー、抗菌処理等を施工し、安全・快適性を高めました。



ショクダイオオコンニャク公開(6月)